



平成 25 年度事業実施状況報告

清流・環境対策部会

ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」は、「川～海をつなぐ 美しい元気な山形づくり」の事業を開始し、最上川流域から流入している海岸漂着物削減のための取組みをさらに推進した。身近な川や水辺の健康診断は、小中学校への調査サポートを会員の協力のもと継続して行い、多くの参加人数・初参加でも調査しやすいよう働きかけた。クリーンアップ・キャンペーンは、活動の拡大や効率化を図るため、申し込み箇所や日程、調査結果をホームページに掲載し、随時更新。また、データカードを日本版 ICG データカードに対応し変更した。もがみがわ水環境発表会は、昨年に引き続き小学生については参加しやすいようにかべ新聞を募集、また発表も様々な観点から水環境を考える内容が加わり、発表数が増加・充実した。

1 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」

(1) 「川～海をつなぐ美しい元気な山形づくり」業務

①小水路ごみトラップ（簡易柵）の設置

- ・主流河川へゴミ流入前に捕集することを目的とし、県内 8 箇所を設置。
- ・各市町村・山形県土地改良事業団体連合会等に設置に関するアンケートをとり、設置希望箇所を聞き取り後、下見に行き現地に合った簡易柵を設置。
- ・団体ホームページでのお知らせ、アダプト団体、クリーンアップキャンペーン参加団体、団体会員へ郵送にて募集チラシを発送。②の説明会を行ったほか、県主催で県内 3 箇所にて市町村に対して事業説明会を行う。（2月21日村山総合支庁、2月27日最上総合支庁、3月5日置賜総合支庁）次年度設置の働きかけも継続して実施。
- ・また、設置箇所については市町村等でごみ処理等の維持管理が可能な箇所とし、設置箇所を調整。

②「ゴミ発生源対策にかかる鉄柵試行事業報告と海ゴミ削減のための簡易柵設置説明会」開催

11月28日（木）緑町会館 401 会議室

国土交通省山形河川国道事務所が実施した支流と本流の合流点に設置した鉄柵でのゴミの回収・調査結果（H24.12で終了）の報告にあわせ、小水路ごみトラップ設置説明会を開催。

③スポーツゴミ拾いの開催

海岸漂着物問題の普及啓発として開催。

- ・11月15日（土）鶴岡市湯の浜海岸 プレ大会を開催 競技参加者 15名
- ・12月7日（土）酒田市スワンスケートリンク前 河川敷にて開催 競技参加者 26名
- ・3月15日（土）天童市山形県総合運動公園にて開催 競技参加者 21名
- ・3月16日（日）山形市七日町商店街にて開催予定…雨天により順延 申込み 50名

④普及啓発用パンフレット作成

海岸漂着物問題に関するパンフレット A3 両面カラー版 50,000 部作成。

⑤海岸漂着物対策を担う地域リーダー育成講座の開催

海岸漂着物問題・安全なごみ拾いの方法・スポーツゴミ拾いのノウハウ等の研修会を実施。

- ・1月21日（火）緑町会館 401 会議室 参加者 18名
講師：一般社団法人スポーツ GOMI 拾い連盟 代表理事 馬見塚健一氏
- ・3月15日（土）山形県総合運動公園 P 会議室 参加者 12名
講師：NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡 常任理事 阿部等氏

⑥普及啓発

- ・「森林整備・流木削減を促す木材利用セミナー」内にて山形県循環型社会推進課講師による「海岸漂着物削減を促す河川ゴミの発生源対策」の講演。

11月14日（置賜総合支庁、）15日（村山総合支庁）19日（庄内総合支庁）、20日（最上総合

析センター

(3) 参加者説明会について

地域部会が主体となり開催。置賜・村山・庄内の3地域部会の方々に開催準備のご協力をいただき、参加者の募集を行った。

・庄内地区説明会

平成25年5月24日(金) 14:00～15:30 参加申込みが無かったので実施せず。

・村山地区説明会

平成25年5月25日(土) 14:30～16:00 参加申込みが1団体のみのため実施せず。

・置賜地区説明会

参加者説明会は開催しないが、説明を希望する際はNPO法人おいたまサロンにて随時対応。

(4) 参加者への現地調査サポートについて

参加団体からの要請に応え、地域部会を中心に下記団体のご協力により、現地にて水質調査指導や調査全般のサポートを行った。

(協力会員等) 山形県環境科学研究センター、公益社団法人山形県水質保全協会、一般財団法人山形県理化学分析センター、心のふるさと新井田川の会、しらたかサイエンスクラブ

(5) 調査結果集計は平成24年度に引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会の協力を得て、データを作成し、報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載。あわせて、フォーラムホームページ上に「水辺水質マップ」として掲載。

3 第11回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

(1) 実施状況

①実施期間 8月～10月

②59団体、1,843名の参加

③データカード作成にご協力いただいたグループの活動経費の一部を支援。一律3千円

④日本版 ICC (国際海岸クリーンアップ) データカードに対応し海辺や環境中に残り続ける「プラスチック製品」により焦点を絞ったものに改訂。報告数の少ない物の削除、品目数を減らし使いやすさに配慮したものになっている。

⑤活動の効率化を図るため、参加申込み状況や調査結果をフォーラムホームページの「最上川環境マップ」への掲載し随時更新した。報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載する。

参加状況結果

※()内の数値は、24年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
参加グループ	12 (10)	26 (33)	6 (7)	15 (15)	59 (65)
参加人数	522 (222)	835 (718)	144 (169)	342 (414)	1,843 (1,523)

年度別参加状況

	H14	H15	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
グループ数	6	17	21	58	49	50	50	49	55	65	59
人数	—	—	—	1839	1019	1000	1700	973	1347	1523	1843

(2) イベントとのコラボレーション (事務局にて広報協力・キャンペーンの概要説明の実施・参加等)

①「AQUA SOCIAL FES!!2013」～最上川クリーンアップキャンペーン～

…7月7日(日)道の駅チェリーランド河川敷公園、10月5日(土)最上川河川緑地公園(参加者計約220名)

②水土里ネット三郷堰…9月6日(金)ふれんどしっぷ水辺の郷サミット(中山町 参加者約40名)

最上川文化・地域経済活性化部会

舟運文化シンポジウムを長井市で開催し、「最上川の文化的景観を活かしたまちづくり」をテーマに事例発表、パネルディスカッションを行なった。また、山形県教育庁から委託された「山形の宝 最上川の文化的資産 50 選 写真コンテスト」を実施。シンポジウムとあわせ、地域づくりや観光交流の拡大につなげていくとともに、身近な最上川の素晴らしさを再認識し美しい姿で未来に引継がれることを期待。

昨年度に引き続き、「サクラを守るための研修会」を公益財団法人山形県みどり推進機構、山形新聞・山形放送と共催で実施した。東日本大震災復興支援プロジェクトは 3 年目を迎え、10 年間の長期的支援事業継続にむけて、「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして活動を行った。

流木削減や森林整備を促し経済活性化を図る環境先進都市づくり構想～次世代木質建築協議会は、「木材利用セミナー」を全国 12 会場に加え、山形県内 4 会場でも開催した。

1 最上川流域の重要文化的景観保全事業

(1) 舟運文化シンポジウム

- ・舟運文化シンポジウム IN 長井 「文化的景観を活かしたまちづくり」を開催
- ・12月7日(土) 13:30 から 置賜生涯学習プラザ 2階大研修室 約90名参加
- ・共催:長井市、長井市教育委員会 ・後援:山形県教育委員会、大江町教育委員会
- ・第一部 大江町・長井市の事例発表
- ・第二部 パネルディスカッション (コーディネーター:東北芸術工科大学 教授 志村直愛氏)
- ・開催案内の広報として、長井市報に広告を掲載し全戸配布。開催チラシを会員企業、置賜地域を中心に配布。

(2) 写真コンテスト

山形県教育庁の委託事業で「山形の宝 最上川の文化的資産 50 選写真コンテスト」を開催。

- ・県内外の写真愛好者 62 人から 126 点応募いただいた。
- ・審査会:10月10日(木)
審査員:阿部直美県写真連盟会長、村上幸太郎山形県教育庁教育次長、柴田会長
最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞5点、佳作10点を選定。入賞者に副賞を送付。
- ・入賞作品を掲載したポスターカレンダー(B2判片面カラー4色)2,000部を作成。
- ・入賞作品写真展を開催
 - ①12月1日(日)～5日(水) 白鷹町文化交流センター あゆむ ロビー
当フォーラムが後援する黒滝会主催「最上川シンポジウム in しらたか」開催にあわせ、展示開始。
 - ②12月7日(土) 置賜生涯学習プラザ 2階大研修室前広場
舟運文化シンポジウムにあわせて展示。
 - ③12月18日(水)～22日(日) 山形県郷土館「文翔館」 ギャラリー6・7
 - ④1月20日(月)～31日(金) 荘内銀行本店 ロビー
 - ⑤3月4日(火)～12日(水) 新庄信用金庫本店 ロビー
- ・入賞作品はホームページ上でも紹介。広報に努めた。

2 最上川夢の桜街道づくり

(1) 最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業

最上川夢の桜街道の実現に向けて、地域で行う桜の植栽・維持管理などを、市町村を通じて支援。16市町村・17団体で植栽、手入れ等の活動を実施。

- #### (2) 「サクラを守るための研修会」を公益財団法人山形県みどり推進機構・山形新聞・山形放送と共催で実施。10月22日(火) 13:30～(山形県高度技術研究開発センター 多目的ホール)
- 出席者 約80名 講師:小林勝氏(青森県弘前市都市環境部公園緑地課 樹木医)

3 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」

地域部会

地域の特性や会員のニーズを踏まえ、最上川の歴史・風土・文化等についての学習会や桜守研修会を実施している。実施に当たっては、地域住民や各種団体等が参加できるように配慮し、フォーラム活動に協力していただける団体とのネットワーク拡充を図っている。また、次世代のリーダー育成を支援する「フォーラム塾」を開催。

◇「フォーラム塾」

次世代のリーダー育成を支援する「フォーラム塾」を開催。

- ・第1回：10月30日（水）「建築家本間利雄さんと語り合おう」～県内のトップリーダーから次世代へ語り継ぐ～ 「風土と建築」と題した講演、座談会を実施。参加者37名。（会場：緑町会館）
- ・第2回：1月19日（日）「農林家栗田和則さんと語り合おう」と題した講演、座談会を実施。参加者21名。（会場：新庄市民プラザ）

◇置賜地域部会

(1) 「身近な川や水辺の健康診断」事前指導・調査サポートの実施等。

- ・「身近な川や水辺の健康診断」参加依頼を白鷹町小学校全校に継続して働きかけた。
- ・しらたかサイエンスクラブ高山団長を中心に、水質調査の事前指導・調査当日のサポートを川西町、高島町、白鷹町の3小学校において実施。

(2) 地域の宝を後世に引き継ぐ活動

- ・2月22日（土）「最上川夜話 in 長井」を開催。（長井市泉羽黒集落センター）参加者約40名。作成した紙芝居「最上川を渡る獅子」を上演したほか、「置賜と長井のおもしろ歴史学」と題し、歴史研究家 小山田信一を講師に迎え講話をいただいた。
- ・3月20日（木）「ちびっこ紙芝居」を開催。（長井市金鐘寺）参加者12名。長井市豊田地区の小学生を中心にこれまでに作成した紙芝居2作を上演。

◇村山地域部会

- ・「体験学習会～最上川を調べてみよう～」の実施。

7月27日（土）県立自然博物館（西川町）にて開催予定であったが、悪天候・豪雨などの影響により延期し、11月2日（土）県民の森にて実施。参加者19名。（スタッフ、現地案内人含む）森の散策・水質調査を通し、雨水が最上川へ流れて行くまでの水質の変化を体験。その後「最上川が運んだ文化を学ぼう」をテーマに東北文教大学短期大学 教授 菊地和博氏による講演。最上川がもたらした文化を学んだ。

◇最上地域部会

- ・「新田川観察と水質調査の会」の実施。

10月22日（火）新庄市千門町公民館にて実施。参加者21名。

新田川の上流から下流までの10箇所について観察と水の採取・水質調査、話し合いを行った。

◇庄内地域部会

(1) 「身近な川や水辺の健康診断」の活動

- ・酒田市内の河川周辺の小学校に対し、参加を呼びかけた。
- ・心のふるさと新井田川の会を中心に、水質調査当日のサポートを鶴岡市温海小学校において実施。

(2) 「サクラを守り育てる研修会」

①10月25日（金）酒田市地域福祉センターにて開催。参加者27名。

「サクラを守り育てるための基礎知識」講義を中心に行った。

講師：公益財団法人山形県みどり推進機構 樹木医 山田 寛爾 氏

②3月19日（水）遊佐町2区コミュニティセンターにて開催。参加者39名。

②報告書「笑顔を写す山形の川」作成

③「環境先進都市づくり～次世代木質建築協議会」開催

6 みちのく国づくり支援事業（一般社団法人東北地域づくり協会）

事業名：「最上川をきれいに『ゴミを捨てない県民運動』」

支援額：100,000円

・ホームページ「最上川環境マップ」の発展改修・維持

7 山形県海岸漂着物対策推進協議会との連携

・山形県海岸漂着物対策活動推進員養成手法検討会」へ菅原清流・環境対策部会長が検討委員として参加。

8 「美しい多摩川フォーラム」との連携事業

・「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」の推進

9 各種助成事業・基金への応募や寄付などを働きかけ獲得、その活用を行う。

・やまがた社会貢献基金（団体支援寄付）

・みちのく国づくり支援事業（一般社団法人東北地域づくり協会）

・山形市コミュニティファンド

・Web 約款寄付活動（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）

平成25年度美しい山形・最上川フォーラム収支決算

平成26年3月31日現在

(単位:円)

1 収入

区分	平成25年度 当初予算額	補正後予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
1 会費	5,740,000	6,092,000	6,095,920	3,920	
2 県負担金	400,000	400,000	400,000	0	
3 山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (最上川自然環境保全県民活動推進事業)	3,400,600	3,400,600	3,347,220	▲ 53,380	
4 山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (最上川活用地域づくり推進事業)	4,168,500	4,168,500	3,991,151	▲ 177,349	
5 川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務	0	6,411,780	6,411,780	0	
6 繰越金および積立金	3,061,258	3,061,258	3,061,258	0	繰越金1,561,258円、夢の桜街道積立金1,500,000円
雑収入	1,182,342	1,850,862	1,850,229	▲ 633	
①団体助成金など	1,181,700	1,849,700	1,849,700	0	
やまがた社会貢献基金団体支援助成事業	600,000	600,000	600,000	0	
山形の空「最上川の文化的資産50選」写真コンテスト	581,700	581,700	581,700	0	
㈱ヤマザワ会員様寄付	0	428,000	428,000	0	
水環境発表会協賛金	0	90,000	90,000	0	公益社団法人山形県水質保全協会様 20,000円 株式会社理研分析センター様 20,000円 大岩環境技術士事務所様 10,000円 一般社団法人山形県計量協会計量証明部会様 10,000円 一般社団法人山形県浄化槽工業協会様 10,000円 山形県土地改良事業団体連合会様 10,000円 一般財団法人山形県理化学分析センター様 10,000円
みちの国づくり支援事業費	0	100,000	100,000	0	一般社団法人東北地域づくり協会様
あいおいニッセイ同和損保web約款寄付	0	50,000	50,000	0	
②預金利息等	642	1,162	529	▲ 633	
合計	17,952,700	25,385,000	25,157,558	▲ 227,442	

2 支出

(単位:円)

区分	平成25年度 当初予算額	補正後予算額 (A+B)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
1 運営費	12,250,000	12,950,000	11,959,993	▲ 990,007	
①交通費	300,000	300,000	78,584	▲ 221,416	
②需用費	850,000	850,000	706,664	▲ 143,336	
③役員費	1,000,000	1,000,000	765,870	▲ 234,130	
④使用料	700,000	700,000	591,918	▲ 108,082	
⑤事務局員費	9,400,000	10,000,000	9,816,957	▲ 183,043	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費含む
2 事業費	5,681,700	9,999,700	9,405,016	▲ 594,684	
①水辺の健康診断	600,000	600,000	442,080	▲ 157,920	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(自然環境保全)含む
②もがみがわ水環境発表会	300,000	390,000	319,195	▲ 70,805	やまがた社会貢献基金支援助成、協賛金含む
③クリーンアップキャンペーン	300,000	350,000	284,374	▲ 65,626	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(自然環境保全)含む
④さくら物語	300,000	300,000	257,250	▲ 42,750	
⑤舟運文化シンポジウム	200,000	200,000	195,345	▲ 4,655	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(地域づくり)含む
⑥東北桜の礼所八十八カ所巡り	600,000	600,000	553,100	▲ 46,900	
⑦桜街道づくり	1,200,000	1,728,000	1,728,067	67	
⑧桜守育成事業・研修会	150,000	150,000	128,715	▲ 21,285	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(地域づくり)含む
⑨キャンペーン啓発物品	400,000	400,000	381,933	▲ 18,067	
⑩地域事業	700,000	700,000	560,671	▲ 139,329	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(地域づくり)含む
⑪ゴミ発生源対策	350,000	4,000,000	3,994,215	▲ 5,785	川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務、やまがた社会貢献基金支援助成、みちの国づくり支援事業補助対象含む
⑫山形の空「最上川の文化的資産50選」写真コンテスト	581,700	581,700	560,071	▲ 21,629	
3 予備費	21,000	21,000	3,315	▲ 17,685	
4 積立金および繰越金	0	2,514,300	2,500,000	▲ 14,300	積立金(夢の桜街道積立金へ)
総計	17,952,700	25,385,000	23,868,324	▲ 1,516,676	
収入の部計	25,157,558				
支出の部計	23,868,324				
差引(H26年度への繰越金)	1,289,234				

3 積立金

(単位:円)

区分	25年度 期首残高(A)	25年度 期末残高(B)	増減 (B-A)	備考
1 フォーラム基盤強化積立金	1,108,663	1,108,891	228	
2 夢の桜街道積立金	1,500,000	2,500,000	1,000,000	
合計	2,608,663	3,608,891	1,000,228	